

# ◇ 日本史

日 5-1～日 5-12 まで 12 ページあります。

第1問 次のAとBの文章を読み、それぞれの間に答えよ。

A

奈良時代の文化は天平文化と呼ばれる。この「天平」という名称は元号から由来していて、主として( A )とその後であった(ア)光明皇后が文化の担い手としての中心であった。740年に( B )が( C )や(イ)玄昉の排除を求めて九州で大規模な反乱を起こしたが鎮圧された。この乱が起きてから数年の間に( A )は( D )・難波宮・(ウ)紫香楽宮などに都を転々と移した。こうした政治情勢や社会不安から( A )は仏教のもつ( E )の思想により国家を安定させようとした。

問1 文中の( A )にあてはまる天皇は誰か。次の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号

- ① 元明天皇
- ② 元正天皇
- ③ 文武天皇
- ④ 聖武天皇

問2 文中の下線部(ア)について、彼女が建立した施設にあたるものはどれか。次の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号

- ① 北山十八間戸
- ② 悲田院
- ③ 勸学院
- ④ 綜芸種智院

問3 文中の( B )にあてはまる人物は誰か。次の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号

- ① 藤原緒嗣
- ② 藤原宇合
- ③ 藤原広嗣
- ④ 藤原冬嗣

問4 文中の( C )にあてはまる人物は誰か。次の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号

- ① 淡海三船
- ② 吉備真備
- ③ 石上宅嗣
- ④ 稗田阿礼

問5 文中の下線部(イ)について、彼に関する記述のうち、正しい文はどれか。次の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号

- ① 玄昉は、高向玄理や南淵請安らとともに唐に渡り、様々な知識を身に付けて帰国した。
- ② 玄昉は、称徳天皇の支持を得て、太政大臣・禪師、さらには法王となって権力を握った。
- ③ 玄昉は、東大寺の大仏造立にあたって民衆を率いて協力し、社会事業に尽力した。
- ④ 玄昉は、藤原仲麻呂の台頭により筑紫観世音寺別当に左遷され、任地で亡くなった。

問6 文中の( D )にあてはまる都は何か。次の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号

- ① 藤原京
- ② 飛鳥浄御原宮
- ③ 長岡京
- ④ 恭仁京

問7 文中の下線部(ウ)について、この地で出された大仏造立の詔は西暦何年に出されたか。次の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号

- ① 723年
- ② 729年
- ③ 743年
- ④ 752年

問8 文中の( E )にあてはまる語句は何か。次の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号

- ① 文章経国
- ② 鎮護国家
- ③ 極楽浄土
- ④ 神仏習合

問9 奈良時代に関する事柄について述べた次の文Ⅰ～Ⅲを、古いものから年代順に正しく配列したものを、次の①～⑥のうちから一つ選べ。

解答番号

- Ⅰ 長屋王の時代、三世一身法が出され、民間の開墾による耕地の拡大を図った。
- Ⅱ 道鏡は寺院以外の加墾禁止令を出し、初期荘園の開発に歯止めをかけようとした。
- Ⅲ 元明天皇の時代に蓄銭叙位令が出され、貨幣の流通促進が目指された。

① I → II → III

② I → III → II

③ II → I → III

④ II → III → I

⑤ III → I → II

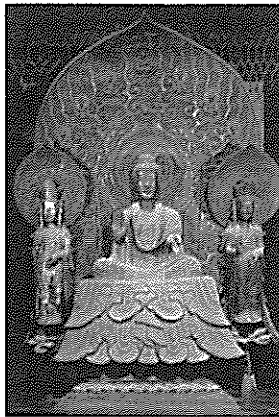
⑥ III → II → I

問 10 奈良時代の天平文化について、この時代の作品にあてはまるものを次の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号 

10
----

①



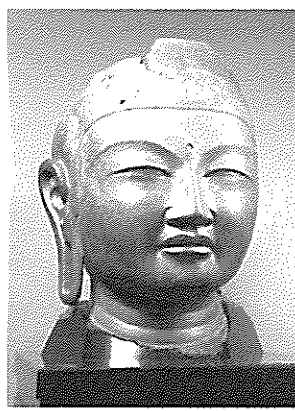
②



③



④



B

1186年、(エ)白河天皇は、子の堀河天皇に譲位し、その後自らが実権を握る院政を行った。すでに藤原氏を外戚としない(オ)後三条天皇の時代から、摂関家の影響力はしだいに弱くなっていたが、院政期になるとその傾向はますます強くなった。鳥羽上皇の時代には、日宋貿易を始めた( F )が殿上人となり、やがて( F )の子であった( G )は(カ)保元の乱や平治の乱に勝利し、武家が政治の実権を握る基礎をつくった。

問 11 文中の下線部(エ)が建立した寺院はどれか。次の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号

- ① 法勝寺
- ② 法興寺
- ③ 法成寺
- ④ 法輪寺

問 12 文中の下線部(オ)に関する次の文 I・II について、その正誤の正しい組み合わせを、次の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号

- I 延喜の荘園整理令を出し、記録荘園券契所を設け荘園の審査を厳格にした。
- II 大江広元や源師房らを登用し、年貢・公事・夫役などの税の増収を図った。

- ① I－正                      II－正
- ② I－正                      II－誤
- ③ I－誤                      II－正
- ④ I－誤                      II－誤

問 13 文中の( F )にあてはまる人物は誰か。次の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号

- ① 平正盛
- ② 平忠盛
- ③ 平重盛
- ④ 平時行

問 14 文中の( G )にあてはまる人物が行った政策でないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号

- ① 福原京への遷都
- ② 新補率法の制定
- ③ 大輪田泊の修築
- ④ 安徳天皇の即位

問 15 文中の下線部(カ)について述べた文のうち、正しいものを次の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号 

15
----

- ① この乱が起こったきっかけは後白河上皇の跡継ぎ問題であった。
- ② この乱で、崇徳上皇側についたのは、平忠正や源義朝であった。
- ③ この乱で、摂関家の藤原頼長と藤原忠通は対立し、藤原頼長が敗北した。
- ④ この乱で、藤原信頼は崇徳上皇側を倒し、政治の実権を握った。

第2問 次のAとBの史料および文章を読んで、それぞれの間で答えよ。史料は一部、省略したり、書き改められたりしたところもある。

A

〔(ア)文明十七年十二月十一日〕一、今日(イ)山城国人集会す。上は六十歳、下は十五六歳と云々。同じく一国中の土民等群集す。今度両陣の時宜を申し定めんが為の故と云々。然るべきか、但し又下極上の至りなり。両陣の返事問答の様如何、未だ聞かず。……

〔同十七日〕……両陣の武家衆各引き退き了ぬ。山城一国中の国人等申し合す故なり。自今以後に於ては両( A )方は国中に入るべからず。……新関等一切これを立つべからずと云々。珍重の事なり。

〔文明十八年二月十三日〕一、今日山城国人、( B )に会合す。国中の掟法猶以て之を定むべしと云々。

出典『(ウ)大乘院寺社雑事記』

問1 史料中の下線部(ア)はこの国一揆が起こった年代を指している。西暦何年のことか。次の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号

- ① 1467年
- ② 1478年
- ③ 1485年
- ④ 1492年

問2 史料中の下線部(イ)は、この地で何年間自治を行ったか。次の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号

- ① 3年間
- ② 8年間
- ③ 22年間
- ④ 100年間

問3 史料中の( A )にあてはまる語句を、次の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号

- ① 細川
- ② 斯波
- ③ 赤松
- ④ 畠山





- ① 徳川家綱
- ② 徳川家継
- ③ 徳川家治
- ④ 徳川家慶

問 8 文中の下線部(エ)について、後に清が滅びた時の最後の皇帝であり、日本が建国した満州国の皇帝ともなった人物は誰か。次の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号 23

- ① 袁世凱
- ② 溥儀
- ③ 朱熹
- ④ 李淵

問 9 文中 B 中の下線部(オ)に関する次の文 I・II について、その正誤の正しい組み合わせを、次の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号 24

- I 14 世紀にこの国を建国したのは朱元璋であり、元を北方へ追放した。
- II 豊臣秀吉はこの国を支配するため、二度にわたる朝鮮出兵を行った。

- ① I - 正                      II - 正
- ② I - 正                      II - 誤
- ③ I - 誤                      II - 正
- ④ I - 誤                      II - 誤

問 10 文中の( D )にあてはまる戦乱の名前を、次の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号 25

- ① 生田万の乱
- ② 大塩の乱
- ③ 郡内騒動
- ④ 島原の乱

問 11 文中の下線部(カ)について、彼と同時代に藩政の刷新に努力した人物のうち誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号 26

- ① 前田綱紀
- ② 徳川光圀
- ③ 荻生徂徠
- ④ 池田光政

問 12 文中の( E )にあてはまる事件の名前を、次の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号 

27
----

- ① 慶安の変
- ③ 東禅寺事件

- ② 赤穂事件
- ④ 禁門の変

第 3 問 次の A と B の史料および文章を読んで、それぞれの問に答えよ。史料は一部、省略したり、書き改められたりしたところもある。

A

(ア)臣等伏して方今政權の歸する所を察するに、上帝室に在らず、下人民に在らず、而して独り有司に歸す。夫れ有司、上帝室を尊ふと曰はざるには非ず。而も帝室漸く其の尊榮を失ふ。下人民を保つと云はざるには非ず。而も政令百端朝出暮改、政刑情実になり、賞罰愛憎に出つ。言路壅弊困苦告るなし。……臣等愛国の情自ら已む能はず。乃ち之を振救するの道を講求するに、唯天下の公議を張るに在るのみ。天下の公議を張るは( A )を立るに在るのみ。

出典『日新真事誌』

問 1 史料中の下線部(ア)に関連して、日本で最初に結成された政党を何というか。次の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号

- ① 立憲改進黨
- ② 進歩党
- ③ 愛国公党
- ④ 立憲自由党

問 2 史料中の( A )にあてはまる語句を答えなさい。次の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号

- ① 有司専制
- ② 民撰議院
- ③ 藩閥政府
- ④ 超然主義

問 3 史料の文書が明治政府へ提出されたのは西暦何年のことか。次の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号

- ① 1872 年
- ② 1874 年
- ③ 1882 年
- ④ 1889 年

問 4 史料の文書は、明治政府のどの機関に提出されたか。次の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号

- ① 正院
- ② 上院

③ 右院

④ 左院

問5 史料の文書が明治政府に提出された1870年代の日本の状況について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号 

32
----

- ① ロシアと樺太・千島交換条約を結び、領土の画定を行った。
- ② 征韓論争が政府内で勃発し、これに敗れた征韓派参議らが下野した。
- ③ イギリスとの条約改正交渉が成功し、日英通商航海条約を結んだ。
- ④ 佐賀の乱や萩の乱など、士族により各地で反乱が起こった。

B

第二次世界大戦後、中国では、1946年に(イ)国共内戦が始まり、1949年には( B )を主席とする中華人民共和国の成立が宣言された。一方、この内戦に敗北した( C )の国民党は台湾に逃れ、中華民国政府を存続させた。朝鮮半島では、日本軍が撤退した後、1948年にはソ連占領地域に朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)が、アメリカ占領地域には、(ウ)大韓民国(韓国)が建国され、南北分裂状態が固定化した。

問6 文中の下線部(イ)について、日中戦争が始まった1937年に中国では国民党と共産党が提携した。これを何というか。次の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号 

33
----

- ① 第一次国共合作
- ② 第二次国共合作
- ③ 華北分離工作
- ④ 中国文化大革命

問7 文中の( B )にあてはまる人物は誰か。次の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号 

34
----

- ① 鄧小平
- ② 周恩来
- ③ 毛沢東
- ④ 江沢民

問8 文中の( C )にあてはまる人物は誰か。次の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号 

35
----

- ① 蔣介石
- ② 汪兆銘
- ③ 張学良
- ④ 張作霖

問9 文中の下線部(ウ)の大韓民国に関する出来事について述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、次の①～⑥のうちから一つ選べ。

解答番号 

36
----

- Ⅰ 日韓基本条約を結んで、日本と韓国との国交を樹立した。
- Ⅱ 朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)と板門店で休戦協定を結んだ。
- Ⅲ 日韓共同宣言により、両国間の緊密な友好協力関係をより高い次元に発展させるとした。

- |         |         |         |
|---------|---------|---------|
| ① Ⅰ→Ⅱ→Ⅲ | ② Ⅰ→Ⅲ→Ⅱ | ③ Ⅱ→Ⅰ→Ⅲ |
| ④ Ⅱ→Ⅲ→Ⅰ | ⑤ Ⅲ→Ⅰ→Ⅱ | ⑥ Ⅲ→Ⅱ→Ⅰ |